

2011年5月19日

名古屋大学 大学院情報科学研究科
附属組込みシステム研究センター

<http://www.nces.is.nagoya-u.ac.jp/>

NPO 法人 TOPPERS プロジェクト

<http://www.toppers.jp/>

次世代車載システム向け RTOS の仕様検討および開発に関する コンソーシアム型共同研究を開始 ～AUTOSAR OS 仕様ベースの RTOS を産学共同で開発～

名古屋大学 大学院情報科学研究科 附属組込みシステム研究センター(NCES)では、2011年4月より、以下の11社の企業の参加を得て、次世代車載システム向け RTOS の仕様検討および開発に関するコンソーシアム型共同研究(以下、コンソ型共同研究)を開始しました。

コンソ型共同研究への参加企業(五十音順)

- ・ 株式会社ヴィッツ
- ・ 株式会社 OTSL
- ・ 株式会社サニー技研
- ・ 株式会社デンソー
- ・ 株式会社東芝
- ・ トヨタ自動車株式会社
- ・ 日本電気通信システム株式会社
- ・ パナソニック アドバンステクノロジー株式会社
- ・ 富士ソフト株式会社
- ・ 富士通 VLSI 株式会社
- ・ ルネサス エレクトロニクス株式会社

このコンソ型共同研究では、NCES におけるこれまでの研究開発成果を活用し、AUTOSAR OS 仕様をベースとした次世代の車載組込みシステム向けの RTOS 仕様の策定、策定した仕様に基づいた RTOS の実装と、検証スイートの開発等を行います。開発した RTOS(検証スイートを除く)は、開発終了後には、TOPPERS プロジェクトより、TOPPERS/ATK2 の名称でオープンソースソフトウェアとして一般公開する計画です。コンソ型共同研究は、まずは1年間の計画で実施し、進捗や成果を見て次年度以降の継続について検討します。

これまでに、NCES では、AUTOSAR OS 仕様をベースとした RTOS の仕様検討と実装に取り組んできました。特に、AUTOSAR OS 仕様を独自にマルチコアプロセス拡張した RTOS は、国際的に見ても実装例が発表されておらず、最先端の成果で

あると自負しています。また、NCES では、ITRON 仕様ベースのマルチコアプロセッサ対応 RTOS を対象に、RTOS の検証支援ツールと検証スイートの開発をコンソ型研究によって行いました。これらの研究開発成果が、今回のコンソ型共同研究の出発点となります。

なお、このコンソ型共同研究は、NCES において実施中の「組込みシステム技術に関する高度な研究開発人材の養成」の一環として実施するもので、RTOS に関する研究開発技術者を養成することも目的の 1 つとしています。

このコンソ型共同研究へは、年度途中から参加することも可能です。参加を希望する方は、以下のお問い合わせ先まで連絡いただくと幸いです。

お問い合わせ先

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

名古屋大学 大学院情報科学研究科
附属組込みシステム研究センター
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 C3-2
名古屋大学 情報基盤センター1 階
TEL: 052-789-4228 FAX: 052-789-4237
Email: nces-office@nces.is.nagoya-u.ac.jp

本発表文の PDF ファイルと、昨年 12 月 1 日に発表したこのコンソ型共同研究の募集案内および詳細説明は、下記の URL から入手することができます。

<http://www.nces.is.nagoya-u.ac.jp/press/index.html>

組込みシステム研究センター(NCES)について

組込みシステム研究センター(NCES, センター長: 高田広章)は、組込みシステム技術に関する研究開発と人材育成を行うことを目的に、2006 年 4 月 1 日付けで、名古屋大学 大学院情報科学研究科の附属施設として設置されたものです。

NCES では、組込みシステムに関する以下の活動に、産学官連携の枠組みで取り組んでいます。

- ・ 大学の持つ技術シーズを実現／実用化することを指向した研究
- ・ プロトタイプとなるソフトウェアの開発
- ・ 組込みシステム技術者の教育／人材育成

NCES のコンソーシアム型共同研究とは、NCES 側で設定した研究テーマに対して複数の企業に参加していただき、NCES を中心としたコンソーシアムで共同研究・開発を行うものです。これまでの実施実績として、2009 年度から 2010 年度にかけて実施した「マルチプロセッサ向け RTOS に関するコンソーシアム型共同研究」があります。